



AKITA PREFECTURAL YOUTH CENTER

秋田県青少年交流センター広報

せしゆゆう

平成31年3月28日発行

第17号

〒011-0905 秋田市寺内神屋敷3-1
Tel 018-880-2303 Fax 018-847-6350
e-mail youthpal@tkonet.ne.jp
ホームページ <http://youthpal.la.coocan.jp>



「 実りある事業展開を 」

秋田県青少年交流センター
所 長 近 藤 誠 一
(一般財団法人 秋田県青年会館 理事長)

今季は、内陸部では大雪のようでしたが、当センターのある秋田市では例年に比べて雪も少なく、信じがたいほどの早い春の訪れでした。いつもなら難儀するはずの除雪も、今季はわずか数回で済みました。雪国に住む者にとってはありがたい一冬でした。

さて、秋田県青少年交流センターは、青少年を対象とした様々な研修を行うこと、青少年団体の活動の拠点として交流の機会を提供すること、県民の様々な生涯学習の場として広く活用されることなどを目的として平成11年に設立されました。平成23年度からは、一般財団法人秋田県青年会館が指定管理者として、各種主催事業を運営し、現在に至っております。

今年度の重点目標は、青少年の社会参加活動の推進、学校教育外活動の支援、小学生を対象とした英語による体験活動の推進などであり、多様なプログラムの開発を図りながら、達成感を得られる研修の実現を目指して運営してまいりました。

ここに平成30年度主催事業等をご報告申し上げますとともに、ご参加いただいた皆様、ご支援・ご協力をいただいた皆様へ改めて感謝申し上げます。今後とも、実りある事業展開を図ってまいりますので、何卒当センターの研修事業にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成30年度

秋田県青少年交流センター主催事業から

1 高校生徒会ネットワーク会議（H16年度からの事業）

期 日：平成30年5月18日（金）～19日（土）

参加者：県内17校47名（男子30名、女子17名）



県央・県南の7校13名の生徒たちが自発的に実行委員を引き受けてくれました。彼らによる実行委員会を3回開催し、本事業の企画・運営に関する協議を行いました。

ネットワーク会議本番の交流会議では、より充実した生徒会活動を推進するために情報交換が行われ、魅力的な活動への手がかりを求めて、熱心な研修・討議・発表が行われました。

事前資料として、県内24校から現状報告の提出があり、討論の際の参考となりました。

討論のテーマは「私たちは学校に何を望むのか」と「反映させよう～生徒の意見～」の二つからなり、6グループに分かれて話し合いが行われ、その内容を発表しました。生徒会執行部の在り方を再認識し、生徒会活動を盛り上げていくことの難しさ、楽しさを共感できたようでした。参加した生徒からは、「学校によって違いがあり、参考になった。」「分科会①と②はテーマがつながっていくので、話しやすかった。」「班によって焦点の当て方が異なり、総合すると良い応用になると思った」というコメントが寄せられました。当日は大変な悪天候で、交通の乱れもあり心配しましたが、無事開催でき、感謝いたします。



2 高校生リーダー養成「ニューリーダーセミナー」(H20年度からの事業)

期 日：平成31年2月15日（金）～16日（土）

参加者：県内18校42名（男子19名、女子23名）



生徒会役員を中心に新しくリーダーとなった生徒たちが集い、充実した活動を推進するための研修と情報交換を行い、リーダーとしての資質の向上を目指して実施しました。

研修初日、「高校生のための主権者セミナー」に参加した後、開講式を行い、その後、自己紹介を兼ねてアイスブレイクを行いました。各校のリーダーだけあって積極的に取り組み、すぐに打ち解けたようでした。夕食をはさんだ夜の分科会①では、「リーダーに求められるもの」というテーマで、あるべきリーダー像について討議しました。翌日の分科会②は、各班ごとにテーマを自由に決め、話し合ってもらいました。「SNSの使い方」「制服」「将来の夢」などさまざまな問題が取り上げられ、その解決策を探りました。生徒たちは、他校のリーダーたちとの意見交換に意義を感じていたようでした。

また、期間中、本県を韓国寧越郡の高校生たちが訪問しており、国際交流事業の一環として、いろいろな研修やゲームを通して交流しました。充実した交流ができたとの感想が双方から聞かれました。



3 高校生のための主権者セミナー（ニューリーダーセミナーと合同実施）

期 日：平成31年2月15日（金）

参加者：県内18校43名（男子20名、女子23名） 教職員2校3名

（ニューリーダーセミナー参加者を含む）

18歳からの選挙権の付与に伴い、高校生を対象に投票権の行使や政治的教養について学ぶ機会を提供し、主権者としての自覚の高揚を図ることを目的に開催されました。

最初に飯田川町（現潟上市）出身の東京大学大学院教育学研究科長・教育学部長の小玉重夫先生から「私たちの一票」と題して、

若者の政治参加への期待などについて講演をしていただきました。グループワークでは、小玉先生の指導の下、イージスアショア配備の問題を取り上げ、地元選出国会議員の主張をまとめ、さらに模擬討論会における質問事項を考えるという課題に取り組みました。参加者からは、「まとめることで各議員の意見が改めてよくわかった」という感想が聞かれました。その後、

実際に使用される投票用具を用いて、全員で模擬投票体験を行いました。「係を務めることで緊張感があった」「政策を見て投票先を決める形がほしい」という意見がありました。



4 青少年国際交流事業（H23年度からの事業）

期 日：平成31年2月14日（木）～18日（月）

参加者：韓国寧越郡内高校生3校15名（男子9名、女子6名） 引率者6名

海外の青少年と相互交流を通じて、交流先の文化や歴史を学ぶとともに国際感覚を身につけ、グローバル化に対応する青少年の育成を図ることを目的に実施しています。



2019韓国寧越（ヨンウォル）郡青少年国際交流事業

今回で7回目となる韓国寧越郡青少年相談福祉センターによる「韓国寧越郡青少年国際交流事業」を、上記の日程で受け入れました。能代松陽高校を訪問し、積極的に交流を深めました。同校と韓国の石正女子高校とは以前にも本事業をきっかけにした生徒間交流があり、温かい歓迎を受けました。また、同時期に行われた「ニューリーダーセミナー」の参加者と、様々なプログラムを通じて楽しく交流しました。双方の高校生から「この交流が楽しかった」との感想をいただきました。このほか、秋田の食文化体験としての「きりたんぼづくり体験」や、秋田市民俗芸能伝承館での「竿燈体験」、仙北市での農家民宿宿泊体験、寿司などの日本食体験など多彩なプログラムを用意し、韓国の高校生たちも秋田の文化を大いに楽しんだようでした。

韓国寧越郡青少年相談福祉センターではこの事業の継続・発展を望んでおり、また、交流した高校からも期待を寄せられていることから、さらに充実したプログラムの開発に努めたいと思います。

なお、韓国平澤市青少年文化センターとの相互交流は、諸般の事情により中止しました。また、来年度につきましては、再開の見通しがつかないことから、中止を予定しております。



5 イングリッシュキッズプロジェクト (H26年度からの事業)

期 日：平成30年8月8日(水)～10日(金)

参加者：中央地区の小学校6年生43名(男子29名、女子14名)



子どもたちに英語を使った活動・体験の機会を提供し、英語をより身近に感じ、自らコミュニケーションをとる積極性を育むことを目的に開催しました。昨年度から募集地域を拡大したこともあり、今年度は参加地区、参加者数とも増加しました。

3日間にわたって、3班に分かれて「Let's Try」(英語を用いたレクゲーム)、「Let's Hello」(英語での自己紹介)、「Let's Draw」(英語を覚えて絵を描く)に取り組みました。「Let's Try」では、サポーターの出身国(インドネシア、モンゴル、ネパール)についてお話を聞いたり、英語による借り物競走を楽しみました。また、秋田カタンクラブさんの協力で外国のボードゲームを楽しみました。「Let's Hello」では、英語での自己紹介(名前、学校名、好きな食べ物)や英語での挨拶の仕方を習い、それを活用して英会話に励みました。「Let's Draw」では、出題された物(食べ物や動物など)の絵を描いて、英語のスペルや発音を習い、ゲーム形式でそのまとまりが何を意味しているのかを当てて楽しみました。最終日の「活動発表」では、たくさんの保護者の方々に囲まれながら、「Let's Hello」で学んだことを生かし、それぞれが自己紹介やサポーターとの英会話を披露しました。子どもたちは少しはにかみながらも、立派に発表できたことで大変満足した様子でした。英語の「聞く」「読む」「話す」「書く」に親しんだ3日間となりました。



6 ユースボランティア認定事業 (H22年度からの事業)

期 日：対象事業の実施日

認定者：24名(男子13名、女子11名：高校生13名、大学生4名、一般7名)



ユースパル主催事業のボランティア活動に参加された高校生や大学生、一般の方々を対象に、ボランティア活動の認定を行いました。今年度対象となった事業は、「高校生徒会ネットワーク会議」「イングリッシュキッズプロジェクト」「ヤングフェスティバル」「青少年国際交流事業」の四事業です。24名の方に認定証を授与いたしました。

「高校生徒会ネットワーク会議」では、13名の実行委員が企画・運営にあたってくれました。

「イングリッシュキッズプロジェクト」では、3名の外国人の方にサポーターを務めていただき、英語や自国の文化について指導していただきました。また米国留学経験があり、ファシリテーターとしての経験も豊かな方に総合サポートをお願いしました。

「ヤングフェスティバル」では、2名の方に司会・進行をお願いし、見事な司会ぶりで会場を沸かせていただきました。また4名の方には裏方として会場設置や運営にご協力いただきました。

「青少年国際交流事業」では韓国の大学生1名に通訳を兼ねて運営のサポートにあたってくださいました。



7 ヤングフェスティバル（H16年度からの事業）

期 日：平成30年12月2日（日）

会 場：秋田県青少年交流センター

来場者：約500名

秋田県青少年交流センターでは、ユースパルを利用する青少年団体等や高校生、大学生、地域の方々の文化活動の成果を発表・展示する機会を提供しています。今回は6年ぶりに会場を当センターに移し、14組の方々にパフォーマンスを披露していただきました。メイン会場では、郷土芸能、和太鼓、小学生から青年までの6団体によるヤートセ、ヒーローショー、カンフーの演武、歌唱力抜群のアマ歌手の歌など盛り沢山の内容で進められ、最後は大館市のアイドルグループまちあわせハチ公ガールズによるステージで締めくくられました。県内の若手アーティストの方々に、会場の多くの来場者から温かい拍手が送られました。



サブ会場では、6団体によるパネル展示のほか、ボードゲーム体験、ドローン体験、プラレール体験などが用意され、親子連れを中心に、多くの来場者の姿が見られました。

◎出演者一覧

秋田和洋女子高校郷土文化部（郷土芸能） 和太鼓いぶき（和太鼓） 闘心乱華（ヤートセ）
ヤートセ秋田酔楽天（ヤートセ） ビートファイターACE（ヒーローショー）
御船理玖（ミュージカルソング） コモンビート（ミュージカル） よさこい残（ヤートセ）
寺内こまちはやて組（ヤートセ） 笑泉百景（ヤートセ） 舟木努（歌唱）
カンフー武術隊（カンフー） よさとせ歌舞輝（ヤートセ） まちあわせハチ公ガールズ

◎出展団体一覧

ドローンザワールドAKITA店（ドローン） 秋田市にぎわい交流館AU（プラレール）
秋田カタクラブ（ボードゲーム） ボーイスカウト秋田県連盟 ガールスカウト秋田県連盟
日本海洋少年団秋田県連盟 日本ファシリテーション協会秋田サロン
秋田県北方領土返還促進協議会 秋田県青少年交流センター

8 青少年団体間交流会（H18年度からの事業）

期 日：平成31年3月24日（日）

参加者：県内5団体5名（男子4名、女子1名）

県内各地で活躍する様々な青少年団体に呼びかけ、各団体間の活動等の情報交換を図るとともに、ユースパルを拠点として活躍できるよう連携と協力関係を深めることを目的に開催しました。

今年度は、「秋田県連合青年会」「日本海洋少年団秋田県連盟」「ガールスカウト秋田県連盟」「NPO法人nasu地人協会」「秋田学生の森プロジェクトチーム」の5団体5名が集いました。

初めに、「トラ男一家」プロデューサーの武田昌大氏を講師に招き、武田氏のプレゼンと参加者による座談会を行いました。これは「地域おこし研究事業」と合同で行いました。その後、ランチを摂りながら、それぞれの所属団体の活動内容や課題の報告を行いました。互いにアイデアを出し合いながら改善策を探るなど、打ち解けた雰囲気の中で、充実した交流会となりました。



9 ユースパル夜学塾「こみっとサミット」(H22年度からの事業)

期 日：平成30年7月6日(金)

参加者：10名(男子6名、女子4名)

若者に自分を取りまく社会や地域を見つめ直す機会を提供し、自主性や社会参加の意識を育むことを目的に開催しました。また事業を通じて幅広いネットワークの構築も視野に入れています。

今年度は、あきた文化産業施設「松下」を会場に、(株)せんの松岡叡美氏を講師に招き、「秋田美人の産業化」というテーマで講演いただきました。「株式会社せん」設立の経緯や経営理念、



現在の活動状況、今後の展望、さらには地域おこしに向けた考え方などをお話いただきました。

その後、舞妓さんによる演舞を拝見し、ノンアルコールながらお座敷体験をさせていただきました。東京向島から秋田にUターンして川反芸者を復活させた芸者染龍さんからも、秋田の花柳界再興にかける強い思いを聞くことができました。最後は参加者同士による互いの活動状況に関する話し合いを持ちました。



参加者からは、「地元にある資源を生かして活動する株式会社せんの姿勢に感激した。」「旧割烹松下をリノベーションして、生きた姿にさせていただいて嬉しい。」「めったにない機会をいただけて楽しく過ごすことができました。」などの感想をいただきました。

10 なまはげきゃんぷ (H18年度からの事業)

期 日：平成31年1月11日(金)～13日(日)

参加者：2名(男子1名、女子1名) サポーター等8名

ユースパルでは、人付き合いは得意ではないけれど様々な能力や可能性を秘めた若者を支援し、自然体験や生活体験等を通して、社会参加を目指すきっかけを提供しています。

今年のきゃんぷでは、さまざまなコミュニケーショントレーニングを通して心のリフレッシュを図りました。また、体験活動と



して、八橋人形伝承館での絵付け体験や県フロアカーリング協会の指導によるフロアカーリング体験、県農業科学館学芸主事による多肉植物の寄せ植え体験、外国の方を招いての異国文化体験などを行いました。多彩な内容に戸惑いながらも、充実した三日間を過ごすことができました。参加者からは「こんなに笑える充実した時間を持つとは思わなかった。」「大変充実した三日間で楽しかった。」といった感想がありました。その他にも、経験豊かなスタッフの話聞くことができ、ためになったという感想や今後の生活に対する意気込みなどを聞かせていただきました。このきゃんぷを通じて、すこしでも明日へのエネルギーにつながったのであれば幸いです。



11 市町村公民館連携事業（H21年度からの事業）

青少年の自立・社会参加活動支援事業の一環として実施し、市町村公民館や地域社会との連携を図り、青少年や団体活動の発掘や育成を目指し、年間を通して社会教育事業を展開している地域を支援してまいりました。本事業は今年度を以て終了いたします。

※「2019手づくりフェスタ」平成31年2月23日（土）

八郎潟町えきまえ交流館はちパルで約100名の参加者を得て行われました。さまざまな体験コーナーの他、昔遊びのコーナーなども設けられ、子どもたちの楽しそうな笑顔が多く見られました。親子連れのほか中高年の参加者も多く、幅広い年齢層に受け入れられているようでした。



12 地域おこし研究事業（H30年度からの事業）

期 日：平成31年3月24日（日）

参加者：30名（男子24名、女子6名）

秋田県と連携しながら、県内の地域活性化と若者を中心とした組織づくりの支援を目指し、地域おこし協力隊などのネットワーク構築を図ることを目的に実施しました。午前の部はトラ男一家プロジェクターの武田昌大氏を講師に招き、武田氏のプレゼンと参加者による座談会を行いました。テーマが起業に関わるものであり、熱心な質疑応答もあって、大変盛り上がりました。午後からは三つのワークショップを行い、男鹿市地域おこし協力の伊藤晴樹にファシリテーターを務めていただき、「理想のライフスタイル」「理想の働き方」「ライフスタイルと働き方」について理解を深めました。



平成30年度 学校団体のセカンドスクールの利用状況

利用校種別	学 校 数				利 用 人 数			
	県北	中央	県南	全県	県北	中央	県南	全県
幼稚園・保育所	0	3	0	3	0	661	0	661
小 学 校	0	0	0	0	0	0	0	0
中 学 校	18	10	6	34	2,036	1,390	658	4,084
高 等 学 校	0	2	0	2	0	188	0	188
特別支援学校	0	2	2	4	0	27	98	125
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	18	17	8	43	2,036	2,266	756	5,058

※セカンドスクールの利用について

学校の授業として、児童生徒が学校を離れた場所で、自然体験、社会体験、共同生活体験などの様々な活動を行います。

※研修室利用料金が無料、宿泊料金が通常の半額程度となります。

※希望により、28人乗りの送迎バスが利用可能です。

※ユースパル研修スタッフ（ファシリテーター）による研修の指導も可能です。

- ① コミュニケーション能力向上体験型学習（CHR研修）
- ② ニュースポーツ（キンボール、室内ペタンクなど）
- ③ プロジェクトアドベンチャー系ゲーム
（アイスブレーキングを中心にしたレクリエーションゲーム）



平成31年度 秋田県青少年交流センター主催事業（予定）

1 学校外教育活動支援事業

事業名	目的	日程等
①高校生徒会 ネットワーク会議	県内の高校生徒会役員が一堂に会し、充実した生徒会活動を推進するための情報交換の機会を提供することで、生徒会ネットワークの形成を図ります。	平成31年 5月17日(金)～18日(土) 秋田県青少年交流センター
②高校生リーダー養成 「ニューリーダーセミナー」	様々な分野の高校生リーダーが集い、充実した活動を推進するための研修と情報交換を行い、リーダーとして必要な資質の向上を目指します。	平成32年 2月14日(金)～15日(土) 秋田県青少年交流センター
③青少年国際交流事業	海外の青少年との交流を通じて相互の理解を深めるとともに、コミュニケーション能力を高め、国際感覚を身につけた青少年の育成を図ります。	平成32年 2月上旬(未定) 秋田県青少年交流センター他
④イングリッシュキッズ プロジェクト	県内小学校6年生を対象に、英語を使った活動・体験する機会を提供し、英語をより身近に感じ、自らコミュニケーションをとる積極性を育みます。	平成31年 8月16日(金)～18日(日) 秋田県青少年交流センター

2 青少年の自立・社会参加活動支援事業

事業名	目的	日程等
⑤ユースボランティア 認定事業	ユースパル主催事業のボランティア活動に参加された方を対象に、ボランティア活動の認定をします。	対象事業の実施日
⑥ヤングフェスティバル	青少年団体や高校生、大学生等のグループ活動の成果を発表する場を提供することで、若者の活動の活性化を図ります。	未定 秋田県青少年交流センター
⑦青少年団体間交流会	各青少年団体やグループ、サークルのメンバーが集い、活動内容等の情報交換を図るとともに、団体間での連携や協力関係を深めます。	平成32年 3月上旬(未定) 秋田県青少年交流センター
⑧「なまはげきゃんぷ」	人付き合いが得意ではないが、様々な能力や可能性を秘めた若者(青少年)に、体験活動を通して社会参加を目指すきっかけを提供し、自立を支援します。	平成32年 1月10日(金)～12日(日) 秋田県青少年交流センター他

3 その他事業（指定管理者自主事業）

事業名	目的	日程等
⑨地域青年リーダー養成 「お～い！わけ者えだ が～！！」	県連合青年会が主体となり、各地域に住む青年と語り合い、青年団体の再構築を図るためのリーダー育成を支援します。	平成32年 1月上旬(未定) 秋田県青少年交流センター
⑩地域おこし研究事業	秋田県と連携しながら、県内の地域活性化と若者を中心とした組織作りの支援を目指し、地域おこし協力隊などのネットワーク構築を図ります。	未定 秋田県青少年交流センター

※各事業の開催予定日は都合により変更になる場合があります。

